

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		スポーツ振興事業費 [多摩湖駅伝大会事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	5	保険体育費	目	1	保険体育総務費	事業番号	3
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習 係					課長名	高田 匡章				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 5		
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進								総合計画書(ページ)	43		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 多摩湖駅伝大会参加チーム(健康増進等の目的で多摩湖駅伝大会に参加したいと思う人たち)					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 参加チーム数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 上限参加チーム数(400チーム)に近い参加チーム数を維持する(ただし、コース設定上、参加チームが大幅に増加すると運営に支障が出る可能性がある)。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加チーム数/参加チーム数上限(400チーム)					
	③ そのために何をしましたか。 ①大会ホームページの作成 ②都下及び近隣市区町村スポーツ振興課への広報 ③多摩都市モノレールの各駅にポスターの掲示 ④前回参加チームへの案内送付 ⑤都内高校陸上部に大会要項を送付 ⑥陸上競技大会をまとめたサイト(RUNNET)からのインターネットによる申込受付					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①1回 ②54市区町村 ③3駅 ④239チーム ⑤127校 ⑥約2か月(11~1月上旬まで)					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	チーム	400	495	0					
	成果指標	②の数値	%	88.9	110.0	0.0					
	目標	②の目標値	%			100					
目標値設定の考え方 参加上限チーム数の上限を常に目標とする。											
3 経費	事業費(実績)		円	2,146,893	2,114,192	614,285	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,081,799	1,057,192	307,285					
		特定財源	円	1,065,094	1,057,000	307,000					
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	8,253,000	8,244,000	8,310,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	10,399,893	10,358,192	8,924,285						
4 環境変化等	(1) 開始年度		H2 年度								
	(2) 環境の変化 平成31年度は、多摩湖周回コースの一部(中堰堤)で工事を行うため、公園周回コースへ変更した。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2月末の時点で大会中止を決定した。										

事業名称	スポーツ振興事業費 [多摩湖駅伝大会事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について コース変更にも関わらず参加チーム及び協賛企業とも概ね想定どおりの申し込みがあった。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止によりやむを得ず大会中止となったが、大きな混乱もなく、関係者からも特に意見や要望はでなかった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：②実行委員会、③事業協力、④事業委託、⑥情報提供・情報交換（広報媒体：電車内中吊り）		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 当面のコース変更を踏まえ、これまでの大会と比べても遜色ない魅力的な大会になるよう、関係各所との調整を模索する。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 堰堤補強工事の進捗状況を確認した結果、コース変更しなければならないことが確定し、新しいコースでの開催に向けた準備が必要になる。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 年度当初に新しいコースを決定し、警察との調整を経て新コースで行える条件を整えた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 上記の準備を進めていたにも関わらず、大会が中止となってしまい、新コースでは実施できなかった。 令和2年度は、引き続き、準備していた新コースでできるように、警察、協賛企業等と調整する。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： スポーツ・レクリエーションの推進 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 新コースにより大会参加者の減少が懸念されたが、平成31年度の申込人数は、設定した上限参加チーム数に近い申し込みがあった。 ただし、大会が中止になったことにより、次大会以降の参加者が減少しないように、これまで以上に大会PRを行う必要がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	これまでと同程度又は以上の企業からの協賛が得られるようPRする。 また、平成31年度に申し込みのあった参加チームにも、参加を呼びかける案内を行う。			